

## 広田崎

広田崎は、碇石海岸のすぐ南の半島の先端にあります。ここは、海岸を覆っている巨岩から小石まで大小の白い花崗岩の岩石で知られています。ヒロタはかつてここに住んでいた先住民族であるアイヌの言葉で“美しい浜”を意味する語に由来します。かつては舗装された遊歩道が海岸線に沿ってのびていましたが、2011年3月11日の津波により今ではその一部のみが残っています。白い花崗岩と青い海のコントラストは、岩が沈む夕日に照らされたときに特に美しく見えます。沖合には、島に生える常緑の松の木々にちなんで名付けられた青松島と、ウミネコの繁殖地であり、その糞化石で覆われている椿島があります。